



2020年3月31日(火) - 6月14日(日)

洋風画と泥絵

異国文化から生れた「工芸的絵画」



右・蘭船蘭人風俗図屏風 江戸時代中～後期 縦124.5 cm
上・紅毛人図(ガラス絵根付) 江戸時代中期 径4.0 cm
下・黒船図 江戸時代後期 横33.0 cm 全て日本民藝館蔵

日本民藝館

<http://www.mingeikan.or.jp/>





江戸時代、長崎港を通じてオランダや中国から舶来した「異国」の文化は、日本の絵画や工芸にも新しい表現を引き起こしました。異国的風物を主題に描いた絵画、ガラス絵や長崎版画、のぞき眼鏡で凸レンズから覗き見る眼鏡絵、大名屋敷や名所の風景を描いた東都江戸の土産絵・江戸泥絵などに、西洋の絵画技法の影響下に描かれた洋風表現が見い出せます。遠近法や陰影法は、本来は事物を見たままに写しとるためのものでしたが、西洋の画家から直接学ぶことのなかった日本では独特の描写が生まれ、さらに土産絵などとして民間に広まることで簡略化し、写生画とは異なった魅力を持つ「洋風画」や「泥絵」に変容していきます。本展では、当館創設者・柳宗悦(1889~1961)が「工芸的絵画」と呼び民画として位置付けた、江戸時代後期の洋風画と泥絵を中心に、館蔵品から紹介します。江戸時代の人々が身近に触れた「異国」の文化をご高覧いただければ幸いです。

① 西洋帆船図(銅版画) 亜欧堂田善画 江戸時代後期 縦18・2cm ② うんすんカルタ 江戸時代中期 縦各7・3cm ③ 観月図 江戸時代中期 横13・7cm ④ 裏から光を当てて夜景に転じた第3図 ⑤ 御固図屏風(部分) 江戸時代後期 ⑥ 反射式覗き眼鏡 欧州製 18世紀後半 高66・2cm ⑦ 異国運河の景(眼鏡絵) 江戸時代中期 横35・5cm

記念講演会 **のぞき眼鏡と眼鏡絵が日本美術に与えた影響探求** —庶民の洋風画体験—
 (講師) 岡 泰正 (神戸市立小磯記念美術館 神戸ゆかりの美術館 館長)
 5月23日(土) 18:00-19:30 料金・300円 (入館料別、要予約)

□10:00-17:00(入館は16:30まで) □月曜休館(ただし5月4日は開館し、5月7日振替休館) □一般 1,100円 大高生 600円 中小生 200円 □西館公開日(旧柳宗悦邸) 会期中の第2水曜、第2土曜第3水曜第3土曜(開館時間10:00-16:30、入館は16:00まで) □〒153-0041 東京都目黒区駒場4-3-33 □Tel.03-3467-4527 □京王井の頭線駒場東大前駅西口より徒歩7分

<http://www.mingeikan.or.jp/> **日本民藝館**

次回展・生活美のかたち —Mingei Inspiration 6月23日(火)~9月6日(日)

